

学校運営協議会 議事録

校名	府立 泉陽高等 学校
校長名	武田 温代

開催日時	令和 3年 10月 22日(金)
開催場所	大阪府立泉陽高等学校 図書室
出席者(委員)	池嶋 伸晃委員、中村 俊一委員、茶谷 佳行委員、志賀 亮子委員、 藤丸 利佳委員、(欠席)高木 学委員
出席者(学校)	武田 温代(校長)、藤原 大(事務局長・教頭) 鶴丸 眞治(事務長) 境谷 秀一(首席・2学年主任) 石橋 義之(首席) 中野 祥利(教務主任) 多田 雅征(生活指導主事) 野口 清隆(進路指導主事) 荒木 順子(保健主事) 黒木 陽仁(生徒会部長) 岩本 幸一(3学年主任) 大槻 朋宏(1学年主任)
傍聴者	なし
協議資料	資料① 令和3年度 学校運営協議会 委員による授業見学 資料② 「観点別学習状況の評価」について 資料③ GIGAスクール 経過報告 資料④ 授業力向上プロジェクト(JKP)、高大接続プロジェクト(KSP)関係 資料⑤ 生徒の状況について 資料⑥ 令和4年度使用教科書採択一覧表
備考	

議題等(次第順)

- (1) 保護者からの意見書の提出状況について → 意見書の提出はなし
- (2) 事務局より報告
 - ①令和3年度学校経営計画の進捗状況について
 - ・「観点別学習状況の評価」についての本校の取り組み
 - ・GIGAスクール関係:スマートスクール推進委員会より
 - ・授業力向上プロジェクト関係
 - ・高大接続プロジェクト関係
 - ・生徒の状況について
 - ②教科書の選定状況について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・中学校でも一人一台の端末が導入されて授業形態が変わってくると想像している。また、義務教育での英語の授業もAll Englishで行うことが目標となっている。高校の英語の授業もその延長にあるので、学んだことが活かせるようになってほしい。
- ・本日参観した英語の授業はテンポ感があり、その組み立ても論理的で相当作りこまれていた。できるだけ授業内で覚えさせることが大事。数学の授業では、経験則から一般化させていく道筋をよく立てている、思考力を鍛えようとする意図がよく分かった。
- ・昨年と違い、生徒がマスクをつけた生活に慣れた感じがする。ペアワークでの生徒どうしの応答がスムーズであった。
- ・どの先生も、授業で生徒にどんな力をつけたいのかを考え、ゴールを設定することができている。All Englishも当たり前になり、GIGAスクール構想についても進んでいる。現在、授業形態の変化については過渡期にあるところだが、テンポのある、生徒の脳を活性化させるよう、工夫して授業を行っている。
- ・教員相互の授業見学を活発にするための方策として、クロームブックを活用して授業を録画し、オンデマンドで見ることができるよう考えてみてはどうか。
- ・共通テストに変更され、多くの分量の文を速読する力が必要になっている。普段の授業の中で、必要な要素を抽出する力を身につけさせる必要があるのでは。
- ・欠席や遅刻が増えている生徒についての支援について、泉陽高校ではSCやSSWと共同して十分取り組んでいるところだと思うが、生徒が自己肯定感をもてる場をどれだけ提供できるかが、改善につながる糸口になる。
- ・次年度から高校での学習状況の評価が変わるところだが、「主体的に学習に取り組む態度」の評価については生徒の心身の発達段階や特性・個性に配慮した評価規準をつくることはとても難しいのではと感じた。一方で個別最適な学びについても考えなければならない。何とか知恵を出し合い、乗り切ってほしい。
(教科書選定について、資料の通り承認いただいた。)

次回の会議日程

日時	令和 4年 2月18日(金)16:00～
会場	大阪府立泉陽高等学校 校長室